

流域治水対策内容のフォローアップ (芦北圏域二級水系)

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

■ 河道掘削、堤防整備、引堤

令和2年7月豪雨で浸水被害が発生した河川を対象に、同規模の洪水に対する浸水被害低減を目的とした河川整備を実施します。

■ R7年度の実施内容、進捗状況

(R7) 工事を実施



【津奈木川】
河道掘削
堤防整備

(R3) 堤防整備が完了



【水俣川】
堤防整備



【田浦川】
堤防整備



(R7) 測量設計を実施

【宮の浦川】
河道掘削
堤防整備



(R7) 工事完了

【湯の浦川】
河道掘削
堤防整備



(R7) 3号上流部：
河道掘削に先立ち
根継工を完了
3号下流部：
嵩上げ工事に着手

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

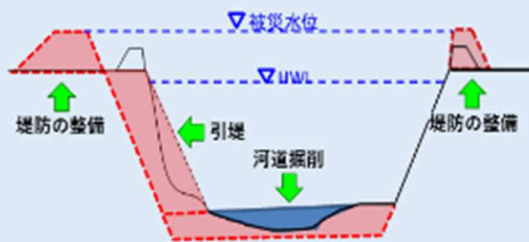
■河川改良復旧

【佐敷川水系河川災害復旧助成事業】

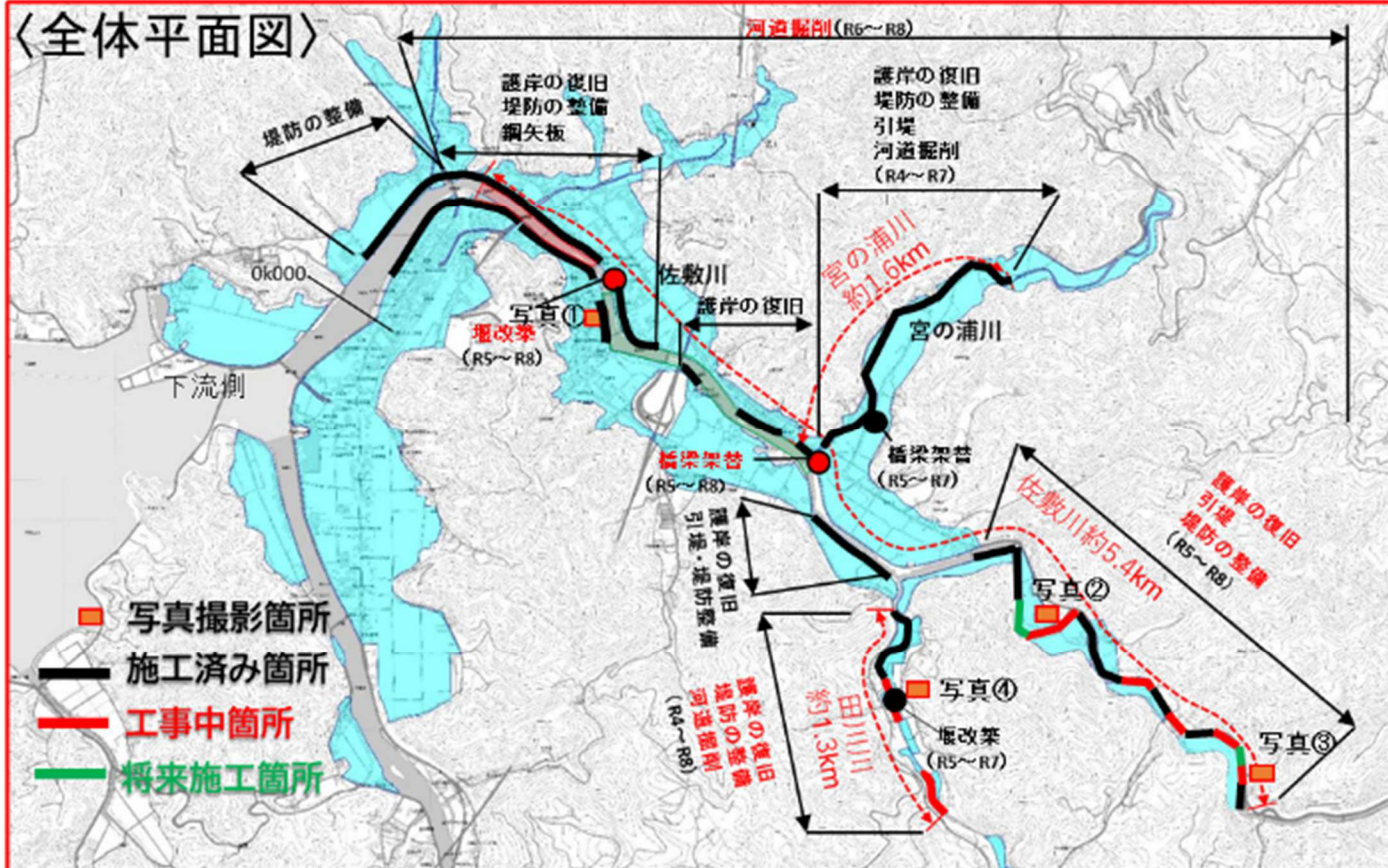
二級河川佐敷川水系佐敷川・宮の浦川・田川川(芦北町)では、令和2年7月豪雨により、住家1,024戸、事業所350戸が浸水する甚大な被害が発生しました。

改良復旧を行うことにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して浸水被害の解消を図ります。

<改良復旧イメージ断面図>



<全体平面図>



現場進捗状況写真



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

■ 砂防設備の整備 【災害関連緊急砂防事業・砂防激甚災害対策特別緊急事業】

令和2年7月豪雨において土石流が発生、若しくは荒廃が進んだ溪流に砂防設備を整備し、土石流による土砂災害の防止、ひいては河川への土砂流出の抑制を図ります。

【佐敷川水系】（芦北町） 乙千屋川、園口川、管無田川、赤江川砂防堰堤整備

【湯の浦川水系】（芦北町） 上平生川1砂防堰堤整備

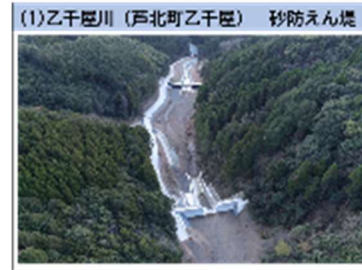
【女島川水系】（芦北町） 小崎川砂防堰堤整備

■ R7年度の取組内容、進捗状況



水系名	溪流 または区域名	施行箇所	対策工法 (災害関連緊急砂防事業)	対策工法 (砂防激甚災害対策特別緊急事業)	
佐敷川	(1) 乙千屋川	芦北町乙千屋	えん堤1基・付替道路(R4)	既設えん堤改築・溪流保全工・管理用道路(R5)	R5完了
	(2) 園口川	芦北町八幡	えん堤1基・付替道路(R4)	えん堤1基・溪流保全工・付替道路(R5)	R6完了
	(3) 管無田川	芦北町桑原	えん堤1基(R4)	溪流保全工・管理用道路(R4～R5) 1	R5完了
	(4) 赤江川	芦北町田川	付替道路(R4)	えん堤1基・溪流保全工・付替道路(R5～) 2	R7完了
湯の浦川	(5) 上平生川-1	芦北町女島	えん堤1基(R4)	溪流保全工・管理用道路(R5)	R5完了
女島川	(6) 小崎川	芦北町女島	えん堤1基(R4)	溪流保全工・管理用道路(R5～)	R6完了

1 特定緊急砂防事業として採択
2 防災・安全交付金事業として採択



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

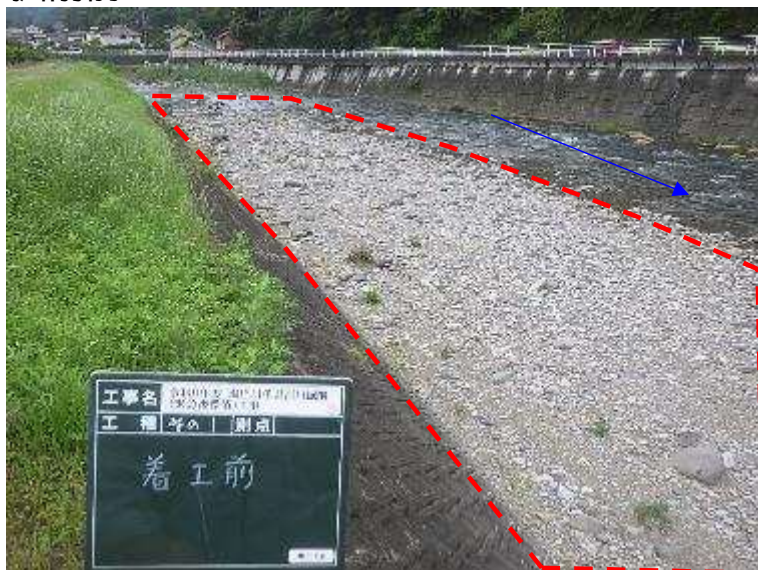
■ 樹木伐採・河道掘削

洪水の流下に支障となる河道内の雑木や堆積土砂を伐採・掘削し、氾濫防止を図ります。【水俣市】

■ R7年度の実施内容、進捗状況

湯出川の河道掘削を実施。

掘削前



湯出川

掘削後



湯出川

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

■ 樹木伐採・河道掘削

洪水の流下に支障となる河道内の雑木や堆積土砂を伐採・掘削し、氾濫防止を図ります。【芦北町】

■ R7年度の実施内容、進捗

佐敷川、湯の浦川、赤松川、乙千屋川の河道掘削を実施。

掘削前



湯の浦川

掘削後



湯の浦川

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

■ 樹木伐採・河道掘削

洪水の流下に支障となる河道内の雑木や堆積土砂を伐採・掘削し、氾濫防止を図ります。【津奈木町】

■ R7年度の実施内容、進捗状況

小津奈木川の河道掘削を実施。

掘削前



小津奈木川



掘削後



小津奈木川

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】
熊本県芦北地域振興局工務課

■ 砂防設備の整備

土石流危険渓流域の土砂災害から下流部の人家、耕地、公共施設を保全し、河川への土砂流出を抑制するため、砂防えん堤等を設置します。

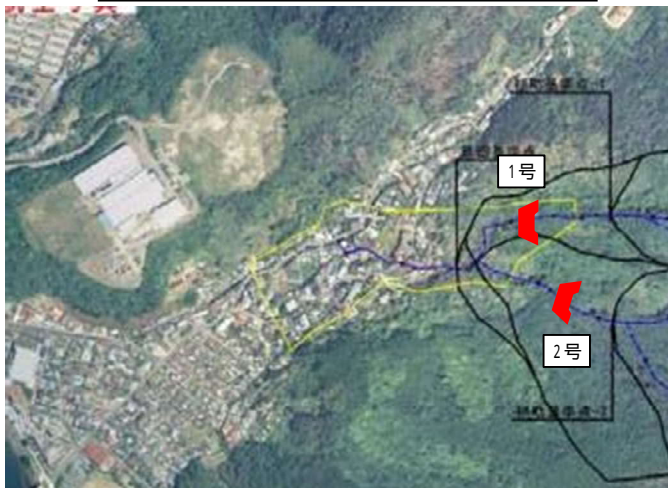
【水俣川水系】(水俣市)	牧の内川砂防堰堤整備
【小津奈木川水系】(水俣市、津奈木町)	上初野川砂防堰堤整備
【津奈木川水系】(津奈木町)	大手川2砂防堰堤整備
【佐敷川水系】(芦北町)	下白木上川砂防堰堤整備

■ R7年度の実施内容、進捗状況

牧の内川、上初野川、大手川、下白木上川砂防事業を推進。

■ 1号砂防えん堤の管理用道路を整備中

牧の内川 1号、2号砂防えん堤
(水俣川水系)



■ 3号砂防えん堤の取付水路工が完了

上初野川 1号、2号、3号砂防えん堤
(小津奈木川水系)



■ 用地交渉が継続中

下白木上川砂防えん堤
(佐敷川水系)

■ 砂防えん堤取付水路工の設計が完了

大手川 2号砂防えん堤
(津奈木川水系)



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】
熊本県芦北地域振興局工務課

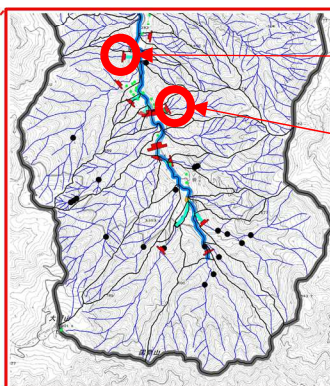
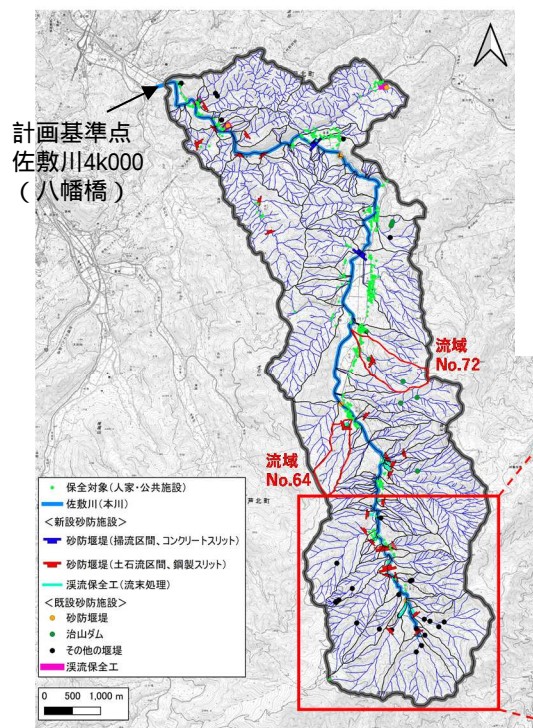
■ 砂防設備の整備

R2.7豪雨により崩壊・土石流とともに土砂洪水氾濫が発生した佐敷川において、再度の土砂洪水氾濫を防止するため、砂防えん堤等を設置します。
【佐敷川水系】(芦北町)

■ R7年度 of 取組内容、進捗状況

佐敷川土砂・洪水氾濫対策計画に基づき、砂防えん堤2基を予備設計契約済

【R2.7豪雨時に氾濫した区域に位置する保全対象】



佐敷川18 (えん堤)

佐敷川12 (えん堤)



桑原地区



國見地区

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【鹿児島県】

鹿児島県北薩地域振興局河川港湾課

■ 護岸整備

洪水の流下による河岸浸食を防ぐ為、護岸の整備を行い氾濫防止を図ります。【鹿児島県】

■ R7年度の取組内容、進捗状況

境川の護岸整備を実施。

当箇所は、経年の出水により河岸が浸食を受け進行している状況であり、背後地には人家や果樹園が存在していることから出水による被害を未然に防止するため護岸工の整備を行っている。

全体計画200mのうち人家のある区間を優先して施工を進めており、令和11年度の事業完了を予定している。

着工前



境川

完成



境川

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【水俣市】

■ 調整池の整備・拡充(浚渫)

・洗切町の浸水被害を防ぐため、八幡遊水池の除草・浚渫を行い遊水機能を確保します。(水俣川水系)

■ R7年度の実施内容、進捗状況

【除草前】



【除草完了】



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【芦北町】

■ 河川の改修 佐敷川水系道川内川、乙千屋川

令和2年7月豪雨では、河川からの越水や排水路等の内水氾濫で多くの家屋等が浸水する被害が発生しているため、河川改修の測量設計業務や拡幅工事などの対策を実施し、安全性の向上を図ります。

■ 令和7年度の実施内容、進捗状況



【道川内川】
拡幅工事



【乙千屋川】
断面検討



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■ 水田の貯留機能向上(田んぼダム取り組み)

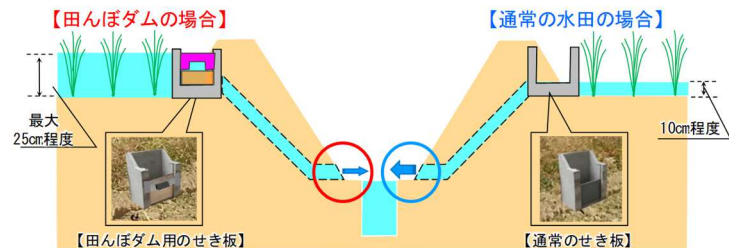
R5年度から芦北圏域を含む熊本県全域において、田んぼダムの取り組みを展開している。
(芦北管内実績: R5年度3箇所、R6年度10箇所、R7年度7箇所)

■ R7年度の実施内容、進捗状況

- ・実施中のほ場整備地区において、田んぼダム専用の一筆排水柵(機能分離型)を設置した。
(R7年度実績: 大川工区(4箇所)、山上工区(3箇所))

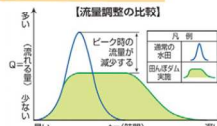
○ 田んぼダムの仕組みについて

- ・水田の排水柵に流出量を調整するせき板を設置して、水田の雨水貯留効果をフル活用。

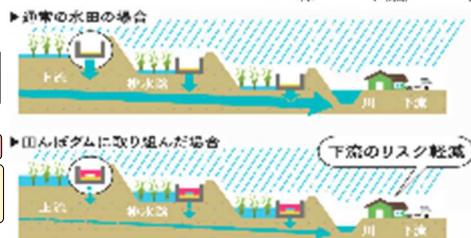


○ 大雨時に水田からの排水量を抑制

- ・雨水をできるだけ水田に貯留することで、ピーク時の流量を減少させ、水田からの流出が緩和。



通常の水田の場合
ゲリラ豪雨や想定外の豪雨時には、下流に浸水被害が発生。
田んぼダムの場合
水田に雨水を貯留し、排水路への流出を遅らせ浸水を軽減。



大川工区(水俣市)

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■ 豪雨災害対策及び防災・減災・国土強靱化を踏まえた森林整備・治山対策

近年、頻発化、激甚化している自然災害から地域住民の生命・財産を守るため、間伐等の森林整備による災害に強い森林づくりと針広混交林化などによる多様な森林づくりを推進します。

また、山地災害が発生した箇所又はおそれのある箇所(山地災害危険地区等)を対象として、溪流の浸食防止、土砂の流出抑制や荒廃森林の機能回復を図るため、治山ダムや山腹工などの治山対策を実施します。

■ R7年度の実施内容、進捗状況

【森林の整備・保全（保安林整備）】
《公益的機能の維持(本数調整伐)》



水俣市宝川内字地獄谷地区

【治山施設の整備】
《治山ダム工》



芦北町大字宮浦字浦田地区

《山腹工》



芦北町大字大岩字攻迫地区

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本南部森林管理署】

■ 豪雨災害対策及び防災・減災・国土強靱化を踏まえた森林整備・治山対策

近年、頻発化、激甚化している自然災害から地域住民の生命・財産を守るため、国有林の維持造成を通じて、森林の有する土砂流出防止機能や水源かん養機能等の適切な発揮に向け、森林整備、治山施設等の設置を行うこととしています。

■ R7年度の森林整備・治山対策の取組内容、進捗状況

森林の土砂流出防止機能や水源かん養機能を発揮するため、下刈、間伐を実施。
土砂の流出抑制のために、治山工事(谷止工)に着手。



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【森林整備センター熊本水源林整備事務所】

■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

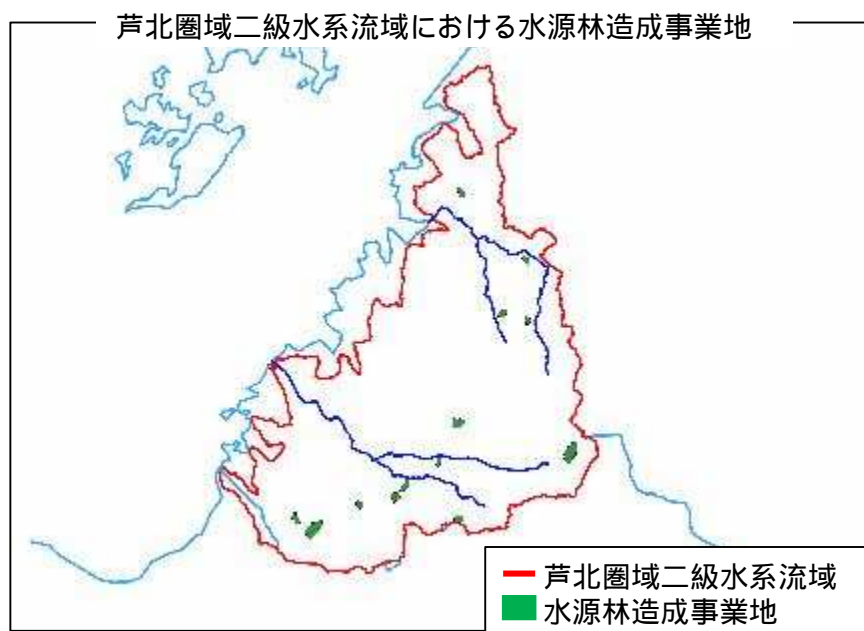
水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

芦北圏域二級水系流域における水源林造成事業地は、13箇所（森林面積 約152ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

■ R7年度の取組内容、進捗状況

流域内における水源林造成事業地において、森林整備を実施。【下刈45.72ha,除伐5.75ha,枝払9.77ha】



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策内容

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

■ 土砂災害警戒区域等の指定

住民の生命を守るため、土砂災害が発生する恐れがある土地の区域を指定しています。

■ R7年度の取組内容、進捗状況

既指定箇所の見直しのため、高精度地形情報を活用した基礎調査(土石流79箇所、急傾斜104箇所)を実施。

基礎調査の実施【都道府県】

- ・ 地形、地質、土地利用状況等を踏まえて、区域指定及び土砂災害防止対策に必要な机上及び現地調査を実施（机上で地形図・航空写真等を用いて土砂災害のおそれのある箇所を抽出し、現地調査により区域の範囲を設定する。）
- ・ 基礎調査を基にして、区域指定の案を図示する形でとりまとめ
- ・ 基礎調査の結果を公表（住民の危険性の認識と、指定促進のため。）

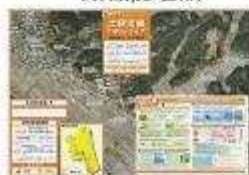
区域の指定【都道府県】

土砂災害警戒区域

○土砂災害による被害を防止・軽減するため、危険の周知、警戒避難体制の整備を行う区域

- 警戒避難体制の整備【市町村等】
- ハザードマップの配布【市町村等】
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等【施設管理者】

土砂災害ハザードマップの作成・配布
(茨城県銚田市)



住区の避難訓練状況
(沖縄県浦添市)



土砂災害特別警戒区域

○避難に配慮を要する方々が利用する要配慮者利用施設等が新たに土砂災害の危険性の高い区域に立地することを未然に防止するため、開発段階から規制していく必要性が特に高いものに対象を限定し、特定の開発行為を許可制とするなどの制限や建築物の構造規制等を行う区域。

- 特定開発行為に対する制限【都道府県】
- 建築物の構造規制【都道府県または市町村】
- 建築物の移転等の勧告【都道府県】



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

■ 洪水浸水想定区域図の作成・周知

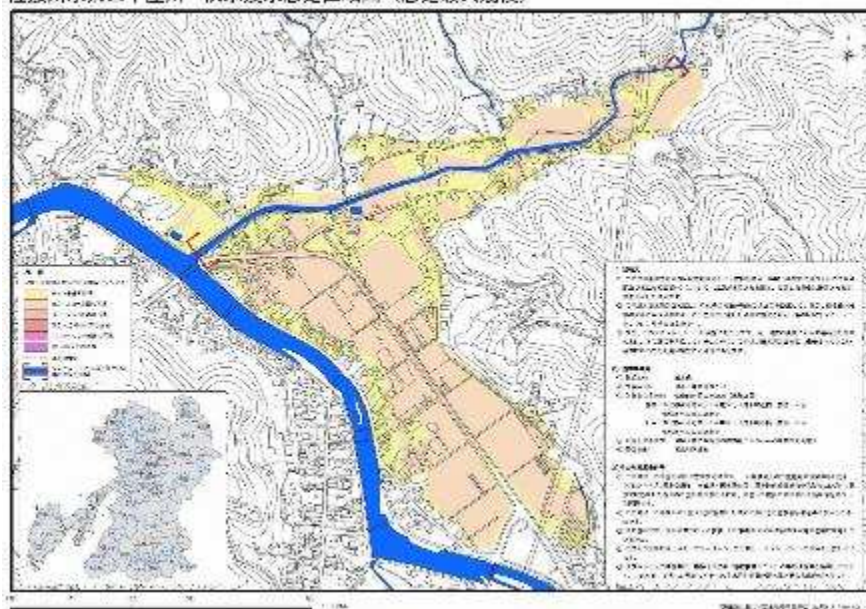
○水害リスク情報の空白地帯の解消に向けて、水位周知河川以外の中小河川においても、洪水浸水想定区域図をR4年3月末までに作成します。

○作成した洪水浸水想定区域図に関しては、県ホームページで公表し住民への周知を図ります。

■ R7年度の実施内容、進捗状況

水位周知河川及び水位周知河川以外の中小河川の洪水浸水想定区域図は令和4年3月末までに作成済。(県ホームページで公表中)

佐敷川水系乙千屋川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の例



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

【水俣市、津奈木町】

■ ハザードマップの作成

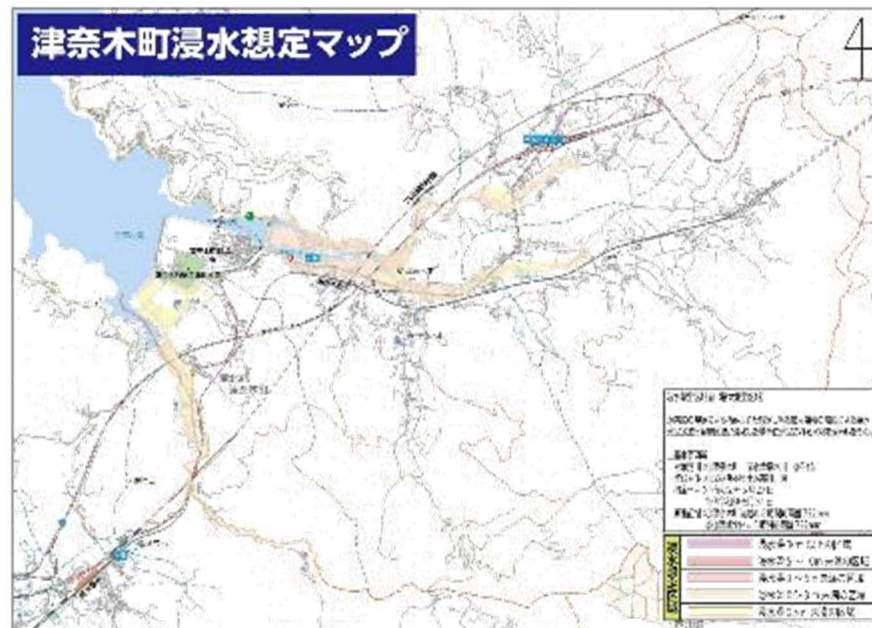
想定最大規模に対応したハザードマップを町内全世帯へ配布し、ホームページでも公表します。
ハザードマップには最新のハザード情報(水害、土砂災害等)を取り入れて随時更新していきます。

■ R7年度の実施内容、進捗状況

WEB版公開中



水俣市防災ハザードマップ



津奈木町浸水想定マップ

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

【芦北町】

■ ハザードマップの作成

芦北町では、令和8年3月に「総合防災マップ」を作成して各世帯に配布し、WEB版も公開しています。
今回作成した「総合防災マップ」はハザード情報に加え、避難所利用についてのルール等も掲載しております。WEB版についても随時更新しており、HPで公開済です。

■ R7年度 of 取組内容、進捗状況

令和8年3月作成



WEB版

令和3年12月作成



氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ため池ハザードマップの作成

■ R7年度の取組内容、進捗状況

A detailed topographic map of Mizusawa City, Aomori Prefecture, Japan. The map highlights several agricultural ponds with red dots and labels: 太泊2号 (Taiboku 2), 初野 (Hatsuno), 月浦中茂1号~4号 (Gyokuyama Nakamochi 1-4), 八ヶ窪 (Yakagawa), 南志水 (Minamisumizumi), 野川 (Nozuka), 白鳥郷 (Shiratorigata), 無田1号、2号 (Mutsuta 1, 2), and 沼川内 (Numikawauchi). Other geographical features include the city boundary, surrounding towns like Tsunashima and Asahi, and the border with Iwate Prefecture. A scale bar indicates distances up to 10 km.

水俣市ため池ハザードマップ

平成28年第6期地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害に
おいて、ため池が周辺にだけ決壊し、下流の地域で被害が発生してい
る。このマップを活用して、ため池が決壊した場合に被害が予想
される区域や、避難方法を確認しましょう。

ハノ 産 ため 池

「もしも」に備えよう！

大雨のとき、ため池の水位が上がり、
溢れ出し被害を及ぼす。
溢れ出し、堤防が壊れ、
周囲の住宅や農地、道路に土砂が流れ込みます。
・建物や住宅は浸水し流れ去ります。

いざというときの緊急連絡先（TEL）

	警 察 110	消 防 119
水俣市役所（内線）		0966-62-1111
水俣警察署		0966-62-0110
水俣市立正成小学校水俣分校 消防団本部		0966-63-1191
九州電力 代官事務所		0120-986-606
NTT 西日本（福岡の方面） 電話していただく		113（国語）
ガス 電話していただく		
災害用伝言ダイヤル		171（国語）



積極的に防災情報を入手しよう

水俣市ホームページ
防災サイト、防災の啓発活動、
避難訓練、災害発生時の対応、
避難所での生活支援など、
さまざまな防災情報を提供しています。

<https://www.city.miyamata.lg.jp/>

災害における防災情報をもっと身近に感じよう

熊本県
総合防災情報システム
災害時の情報伝達や、避難、土砂防
護などの防災情報を伝えます。

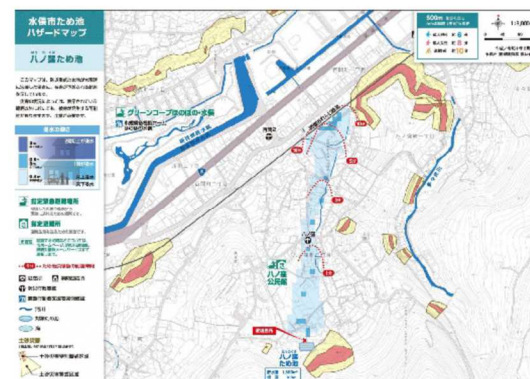
<https://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

熊本県
防災情報メールサービス
県内の防災情報やメールで受け
取ることができます。（登録あり）

<https://www.analip.pref.kumamoto.jp/>

熊本県
防災情報メールサービス
県内の防災情報やメールで受け
取ることができます。（登録あり）

<https://www.analip.pref.kumamoto.jp/>



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

【熊本県】

熊本県芦北地域振興局工務課

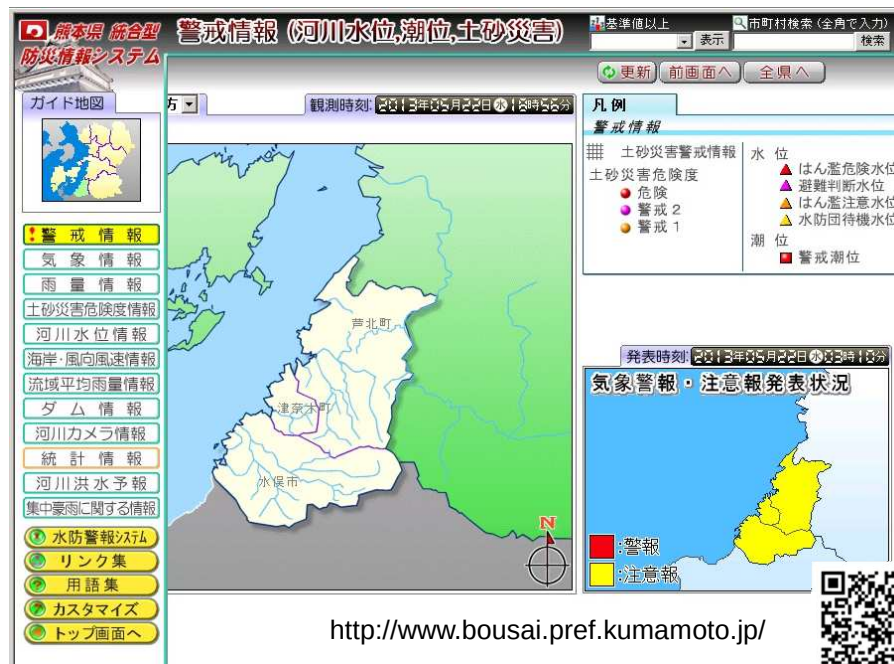
■ 河川情報の充実(水位計、河川カメラ)

- 水位計、河川カメラの河川情報は防災情報くまもとや川の防災情報でリアルタイム情報を配信しています。
- 河川カメラ等の整備を実施し、住民の避難活動に資する河川情報の充実を図ります。

■ R7年度の取組内容、進捗状況

芦北圏域において、水位計15箇所、河川カメラ14箇所により河川情報を配信中。

熊本県統合型防災情報システム(情報画面)



河川監視用カメラ
位置及び画像

津奈木川

令和2年度から運用

危機管理型水位計
位置及び計測画面

津奈木川

令和2年度から運用

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

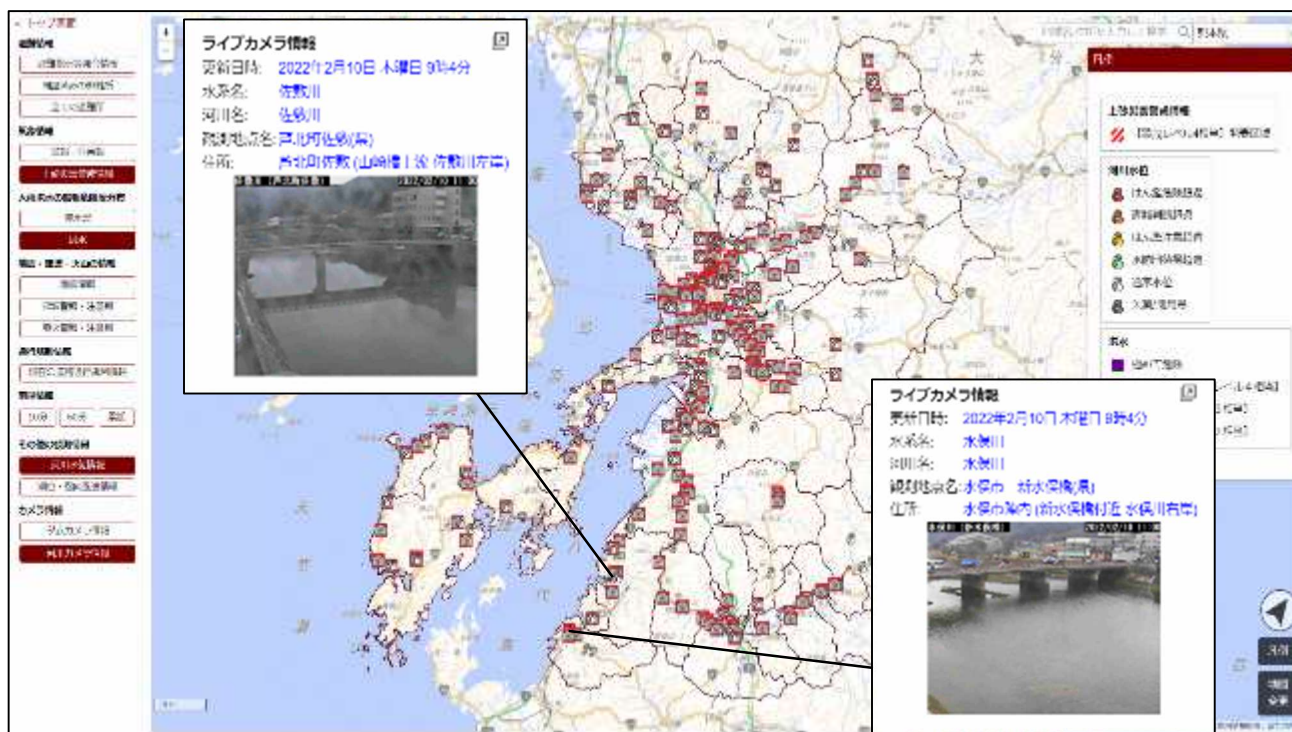
【熊本県】

■ 河川情報の充実(水位計、河川カメラ)

- 水位計、河川カメラの河川情報は防災情報くまもとや川の防災情報でリアルタイム情報を配信しています。
- 河川カメラ等の整備を実施し、住民の避難活動に資する河川情報の充実を図ります。

■ R7年度の取組内容、進捗状況

芦北圏域において、水位計15箇所、河川カメラ14箇所により河川情報を配信中。



<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/>

防災情報メールサービスがあなたのケータイへ安心を届けます。

熊本県では、県民の皆さまの携帯電話、スマートフォンやパソコンに県内の気象警報・注意報や土砂災害警戒情報、地震情報、河川水位情報を配信する「熊本県防災情報メールサービス」を実施しています。

芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

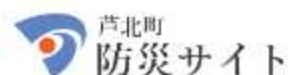
【熊本県、水俣市、芦北町、津奈木町】

- タイムラインの作成、実効性確保
- マイ・タイムラインの作成支援

タイムラインが策定されていない防災関係機関において策定を支援します。
また、住民一人一人が主体的に避難活動を実施できるようにマイ・タイムラインの作成を推進します。

■ R7年度の取組内容、進捗状況

「くまもとマイタイムライン」作成支援動画を公開中



ホーム > 防災サイト > 災害への備え > 「くまもとマイタイムライン」作成支援動画の公開について

「くまもとマイタイムライン」作成支援動画の公開について！

更新日:2023年03月22日

熊本県では、マイタイムラインの作成を推進しています。
マイタイムラインとは、大雨や台風などの自然災害から私たち自身を守るための防災行動計画です。
今回、熊本県において作成された動画はマイタイムラインの作成に必要な知識やガイドブック等のツールを用いた作成方法をわかりやすく解説しています。
ご自身でマイタイムラインを作成される際や、地域においてマイタイムラインを作成する機運等でぜひ活用ください。

① 学習編

[「マイタイムラインの必要はや作成に必要な防災情報・ハザードマップ等についての解説」約18分\(外部リンク\)](#)

② ガイドブック編

[「ガイドブックを使ったマイタイムラインの作成方法」約22分\(外部リンク\)](#)

③ 専用WEBサイト編

[「専用WEBサイトを使ったマイタイムラインの作成方法」約22分\(外部リンク\)](#)



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

【芦北町】

■ 自主防災組織の育成

○防災講話の実施により、自助・共助の重要性と公助の限界について認識を共有

○支え合いマップ・防災避難マップの作成により、地区防災計画の実行性を向上させ計画に基づく防災避難訓練の実施を支援

■ R7年度の実組内容：上原地区・桑原地区がマップを作成

地区防災計画【支え合いマップ・防災避難マップ】



「支え合いマップ」で明らかになった
要支援者の命を守るために「防災避難マップ」を作成！



【防災講話】

【マップ作成支援】



【防災訓練支援】



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策【熊本県、水俣市、芦北町、津奈木町】

■ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。

■ R7年度の取組内容、進捗状況

洪水時における要配慮者利用施設における避難確保計画【令和8年3月31日時点】				
	浸水想定区域内の要配慮者利用施設数	地域防災計画に定められた要配慮者利用施設数	避難確保計画を作成済みの施設数	避難訓練実施数 R7.4.1～R8.3.31
水俣市	37	37	37	37
芦北町	56	56	56	56
津奈木町	2	2	2	2
	95	95	95	95



土砂災害警戒区域に立地するため、土砂災害防止法に基づき警戒避難体制の準備等を構築する必要がある要配慮者利用施設数

【令和8年3月31日時点】

	土砂災害のおそれのある箇所に立地する施設数					
	うち、警戒区域に立地している施設数			うち、地域防災計画に位置づけている(名称の記載がある)施設数		
				うち、避難確保計画を作成している施設数	計画を策定しておらず、土砂法第8条の二、3に基づく必要な指示を受けた施設	
				うち、土砂災害を想定した避難訓練を実施している施設数		
水俣市	21	21	18	18	8	0
芦北町	24	24	24	24	24	0
津奈木町	5	5	5	5	5	0
計	50	50	47	47	37	0



氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

【芦北町】

■ 要配慮者利用施設(高齢者施設・学校・保育園)に対する支援

○避難確保計画講習会

避難確保計画作成の法的根拠及び計画の作成・計画に基づく訓練実施の重要性について認識を共有

○計画作成・訓練支援

各施設及び防災訓練を視察させて頂き、避難確保計画作成及び訓練実施に資する助言を実施

■ R7年度の取組状況

避難確保計画講習会

【避難確保計画講習会：役場会議室において48施設に対して実施】



計画作成・訓練支援

【計画作成・訓練実施の助言：9施設に対して実施】



氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

【芦北町】

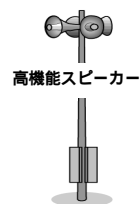
■ 防災拠点の整備（防災行政無線・防災拠点センター整備）

- 防災行政無線の更新整備
- 防災拠点センター整備

■ R7年度の取組内容、進捗状況

《防災行政無線の更新整備》

- R6からR7にかけて、防災行政無線の機能強化を含めた更新を行いました。



屋外拡声子局

- 現行の15局から34局に増設
- 令和2年7月豪雨時の孤立実績や洪水、津波浸水想定を踏まえ選定



戸別受信機

- 引き続き全世帯に配布



防災アプリ

- 屋外拡声子局、戸別受信機に加えてスマートフォンへの配信
- 放送を受信すると**自動起動で音声再生**
- **戸別受信機と同じ音声**でスマートフォンから放送

《防災拠点センター整備》

- 令和2年7月豪雨災害の教訓から、災害対応の効率化・迅速化を図るため、防災拠点センターの整備を進めます。

（以下の機能を整備）

警戒監視体制の強化及び災害対策本部の効率的な運営に係る機能（資機材・スペース）

災害時の受援体制をスムーズにするための機能（スペース）

物資拠点とするための機能（スペース・物資）

（これまでの経緯）

R4：基本計画策定

R5：地質調査、測量、アスベスト調査

R6：基本設計

R7：基本設計（繰越）、実施設計

R8：実施設計（繰越）、旧芦北消防署解体工事

R9：建設工事

R10：建設工事

R11：本庁舎との接続工事（渡り廊下）



芦北圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫の軽減、早期復旧・復興のための対策

【芦北町】

■ 各関係機関との連携強化

○ 危機管理防災懇談会

不測事態等(災害、凶悪犯罪、大規模火災、行方不明者搜索、国民保護等)発生時における各関係機関と町役場間の円滑な情報の共有及び調整に資するため、「顔の見える関係」の構築を図る。

○ 豪雨対応訓練(災害対策本部図上訓練)

豪雨対応の災害対策本部図上訓練を実施し、職員の災害対処能力の向上を図る。

○ 危機管理防災フェスタ

訓練のみならず、楽しみながら防災への意識を高めて、自主防災活動の推進を図る。

■ R7年度の取組状況

【危機管理防災懇談会：10個機関が参加】

○ 地域防災計画の修正に関する意見を聴取

○ 主要事業に関する認識を共有



【豪雨対応訓練：10個機関が参加】

○ 地域防災計画の実行性を検証

○ 災害対策本部のレイアウトを検証



【危機管理防災フェスタ：17個機関が参加】

○ 小中学生・高校生を対象とした防災学習

○ 関係機関の装備品の展示・説明

